

## — 新型コロナウイルスについての重要なお知らせ — 4月27日 5回目発信

4月16日に、政府が緊急事態宣言を全国の都道府県に発出し、国民に不要不急の外出をしないように求めていることを受け、以後の出船を中止しています。

小型船の船室は狭いです。換気も悪く密閉です。いつも5～6人が川の字になって添い寝状態。お互いの加齢臭(失礼)を嗅ぎながら片道2時間なのです。これを3密空間といわず何というのでしょうか。マスク装着したくらいでは到底感染を避けられないでしょう。

一方、釣りをするデッキ上はどうでしょうか。 スパンカーという帆を張りますから船は風上に向きます。そして船首から風が流れてきます。

船首で煙草をプカ〜と吸う人がいたら、その煙が船尾近くまで流れてきたという経験はありませんか？

風により船首で飛んだウイルスを含む飛沫が船尾まで届くということであればソーシャルディスタンスといわれる2m以上間隔を空けても無意味でしょう。

先日、お客様から貴重なご提案をいただき、検温やマスク着用などの条件付きで出船をしました。参加されたお客様は真面目に協力してくださいました。

それでもやっぱり、飲物くらい飲みたいですよね、喫煙者は煙草も吸いたいですよ。だからどうしてもマスクを外されます。そりゃあそうなりますよね、常時マスク装着を徹底なんてやっぱり無理。考えが甘かったです。感染が拡大するなか出船したことは社会の秩序や道徳を逸脱する行為でした。猛反省しました。

ご自身が感染しないために、愛する人に感染させないために、他人にうつさないために、いまは家に居てくださいと何度も繰り返される国からのメッセージ。

釣りに行くとすれば、仕掛けを買うために釣具店に行かれると思います。コンビニにも行かれるでしょう。不要不急の外出を船長が促す結果となってしまいました。

「今は緊急事態宣言を無視せず、レジャーなどの外出は我慢ませんか」とお客様にアドバイスすることが船長のすべき行動だったと思いました。

いろいろ考えましたが、お客さんに健康でいてもらいたいです。楽しそうに釣りをされる姿、その笑顔がまた見たいです。釣り談義がしたいです。

コロナを軽視して出船したばかりに、もしものことがあって二度とお客様の姿を見ることができなくなったら悔やんでも悔やみきれません。

どうか今はご自身とご家族、大切な人の健康を最優先なさって外出を控えてください。釣師隊は当面のあいだ出船を見合わせます。

一方私ども遊漁船事業者は売上がゼロになりますから死活問題でもあります。休業しても発生する固定費があることや、

多くの個人事業主は潤沢な資産の内部留保がないために、長期化するようであればキャッシュフローが滞り存続が困難となるでしょう。

しかしそれは休業を余儀なくされている飲食業など他業種の経営者も同じことです。

突然やってきたコロナショックに十分なリスクヘッジができていませんが、最善をつくして終息後の再開に向けて準備をしたいと思っています。

一刻も早いコロナの終息と皆様のご健康をお祈りいたします。